

調査研究委員会レポート

調査専門委員会および協同研究委員会 委員の公募

委員会名 【技術委員会】		ロバスト・適応・ハイブリッド制御技術の 融合とその産業応用に関する協同研究委員会 【産業計測制御技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等
設置期間		平成 19 年 7 月～平成 21 年 6 月	ロバスト制御・適応制御・ハイブリッド 制御の融合技術について，理論と応用の 両面から調査・研究する。産業界のニー ズを現場見学および開発担当者とのデ ィスカッションを通じて探っていく。産 業界におけるシステム設計論と応用事 例から，将来にわたり産業界で使える理 論と技術の研究を実施する。民間企業様 のご参画を広く募集いたします。
委員長名（所属）		瀧根 洋人（工学院大学）	
委員会開催頻度		6 回 / 年	
問合 ・ 公募 受付 先	氏名 （所属）	橋本 誠司 （群馬大学）	
	電話	0277-30-1741	
	FAX	0277-30-1741	
	E-mail アドレス	seijiha@el.gunma-u.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など		制御，同定，信号処理，ロボティクス， メカトロニクス，プロセス制御， パワーエレクトロニクス，生体工学	
応募締切		平成 20 年 2 月 29 日	
協同研究委員会の場合の委員の負担			5,000 円 / 2 年

委員会名 【技術委員会】		非整備環境におけるパターン認識技術の 応用分野拡大協同研究委員会 【産業システム情報化技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等
設置期間		平成 19 年 9 月～平成 21 年 8 月	本委員会では，生活・生産の様々な分野 でのパターン認識技術の具体的な応用 方法と，そこで起きる光学的環境などを 整えられないための問題の解決方法を 議論，将来に向けた方向性を検討する委 員会である。また，委員会活動も，北海 道，東北，中部，中国四国，九州の各ブ ロックに分かれて実施，年に数回の全国 レベル研究会を行うほか，おおくのワー クショップや国際会議の共同企画母体 となるなどの特徴を持つ。意欲有る多数 の方の参加を歓迎する。
委員長名（所属）		興水 大和（中京大学）	
委員会開催頻度		4 回 / 年	
問合 ・ 公募 受付 先	氏名 （所属）	秦 清治 （香川大学）	
	電話	087-864-2320	
	FAX	087-864-2460	
	E-mail アドレス	hata@eng.kagawa-u.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など		多様な分野で展開されているパターン認識 技術の応用に関する研究・開発の経験をお持ち の方，使用している方，もしくは広くパターン認 識技術に関心をお持ちの方。	
応募締切		平成 20 年 2 月 29 日	
協同研究委員会の場合の委員の負担			交通費等実費負担

委員会名 【技術委員会】		高速道路における情報提供の 新サービスに関する調査専門委員会 【ITS 技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等
設置期間		平成 19 年 7 月～平成 21 年 6 月	(1)将来の道路利用者・道路管理者が安 全，円滑，快適，環境，利便，経済等の 観点から望む多様なニーズから，有効な 新サービスと実現のために必要な新技 術等を調査し，その可能性について研究 する。 (2)事業性の高い新サービスに関して， 実現するために解決すべき技術的課題 や運営形態・法令上の問題等を整理し， そのために必要な交通管制システムの あるべき姿を調査・研究する。
委員長名（所属）		泉 隆（日本大学）	
委員会開催頻度		6 回 / 年	
問合 ・ 公募 受付 先	氏名 （所属）	泉 隆 （日本大学）	
	電話	047-469-5585	
	FAX	047-467-9683	
	E-mail アドレス	izumi@ecs.cst.nihon-u.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など		交通管制システムに関する研究，運用，管理， 企画，設計，施工，保守等に携わった経験があ り，道路情報の収集・処理・提供の技術やコン テンツ等に精通している方。	
応募締切		平成 20 年 2 月 29 日	

委員会名 【技術委員会】		パワーエレクトロニクスシステムの 系統的モデリングおよびシミュレーション 技術協同研究委員会 【半導体電力変換技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要， 委員長のメッセージ等
設置期間		平成 19 年 10 月～平成 21 年 9 月	本委員会では、パワーエレクトロニクス システムのシミュレーションを行なう 際に用いられている様々なモデリング 手法の理論的・系統的な調査分類を行な う。また各シミュレータによるベンチマ ークテストを行い、ホームページに公開 する。
委員長名（所属）		加藤 利次（同志社大学）	
委員会開催頻度		6 回 / 年	
問合 ・ 公募 受付 先	氏名 （ 所属 ）	加藤 利次 （ 同志社大学 ）	
	電話	0774-65-6322	
	FAX	0774-65-6812	
	E-mail アドレス	tkato@mail.doshisha.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野，経験など		パワーエレクトロニクスシステムの研究・設 計・開発でシミュレーションをされている方。	
応募締切		平成 20 年 2 月 29 日	
協同研究委員会の場合の委員の負担			2,000 円 / 年

編集後記

後記を書いているこの時期は、梅雨の真っ直中です。大学では今年度卒業生・修了生の就職活動がようやく収束しつつあります。“少子化”や“理系離れ”の影響からか、工学部への受験倍率はいささか減少気味ではありますが、近年の就職戦線を見る限り、工学部なかでも電気電子分野への求人倍率は、ますます増加してきております。その理由には、景気回復以上に、求人の職種がエレクトロニクス業種に限らず、多業種に拡大していることがあるようです。このような社会的な要求が“理系離れ”や“受験倍率低下”をくい止める良い材料になればと期待しております。

さて、今月のニュースレターの巻頭では、青山学院大学の林洋一新編修長より「編修長に就任して」と題し、電子投稿・査読システムの運用改善や論文誌掲載料引き下げな

ど、今後の取り組みに関するお考えをご執筆いただきました。

また、学界情報ではトルコのアンタルヤで開催された IEMDC2007 について、神奈川大学の中新二先生よりご紹介いただきました。地中海を望むリゾート地という素晴らしいロケーションでの、モータとその駆動技術に特化した国際会議の内容を詳細に報告いただきました。

資料コーナーでは、エネルギーから見た地球温暖化問題について、資源エネルギー庁の調査内容をもとに、東芝の堂元貴史氏にご紹介いただきました。そのメカニズムや我が国の特徴など、大変、興味深い内容となっております。

最後に、ご多忙中にもかかわらず原稿を執筆していただいた皆様、編集作業にご協力いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

エディタ 橋本誠司(群馬大学)

【産業応用フォーラム「家電から HEV/次世代自動車まで省エネ技術を支えるリラクタンストルク応用電動機の最新技術動向」のご案内】

日 時：平成 19 年 9 月 20 日(木) 13:30～17:00

会 場：電気学会会議室

詳細については右のサイトを参照願います。

<http://www2.iee.or.jp/~ias/kousyukai.html>